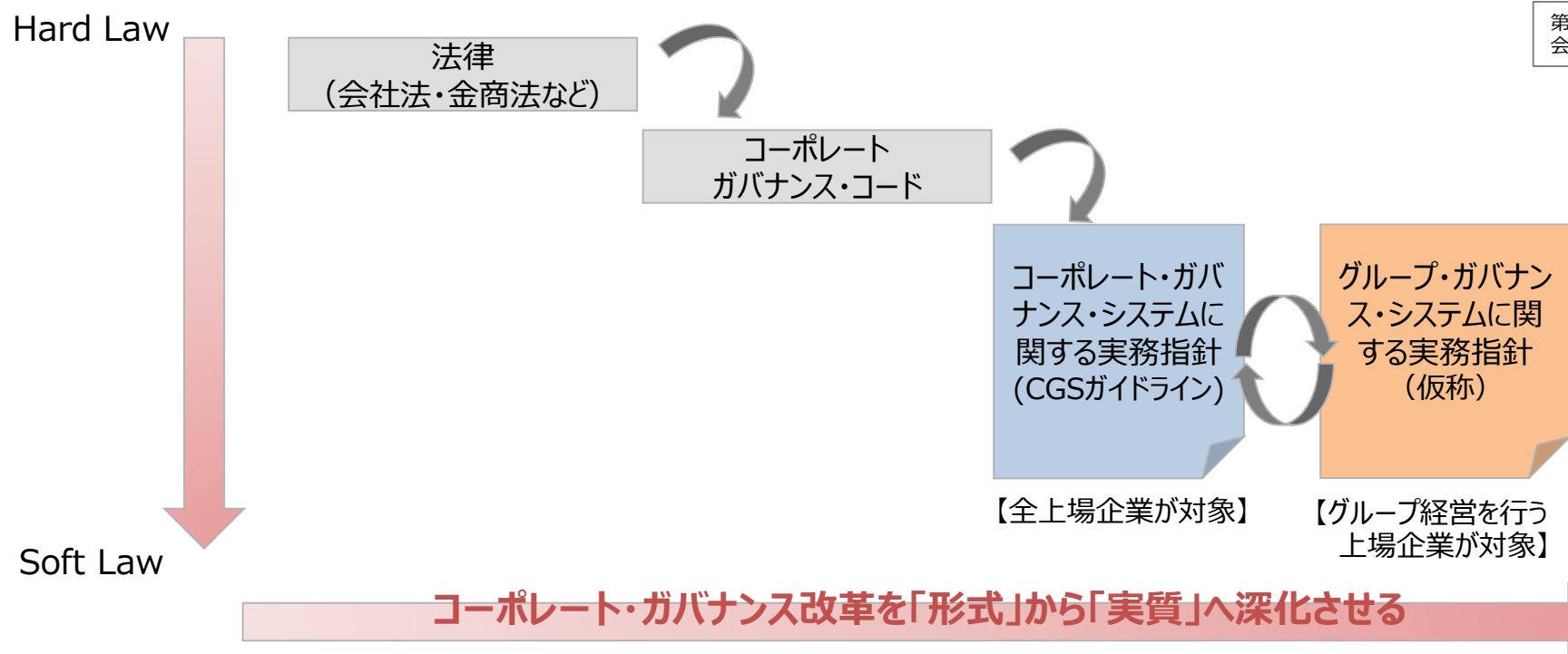


- 2017年末より、本研究会において、企業グループ全体の価値向上を図る観点から、グループ経営において「守り」と「攻め」両面でいかにガバナンスを働かせるか、事業ポートフォリオをどのように最適化するかなど、グループガバナンスの在り方の検討を進めてきたところ。
- これまでの検討の成果をとりまとめて「グループ・ガバナンス・システムに関する実務指針」(仮)を策定する予定であるが、この実務指針は、**特にグループ経営を行う上場企業（上場子会社を含む）を主たる対象**とするものとして、昨年9月に改訂された「コーポレート・ガバナンス・システムに関する実務指針」と**並列の関係**に位置づけることとしてはどうか。

※本研究会の報告書は、実務指針案を中心に構成することを想定（実務指針案に盛り込まれない事項については、今後の検討課題等として記載。）



実務指針の編集構成について

- 「グループ・ガバナンス・システムに関する実務指針」（仮）においては、実務における利便性を勘案し、項目ごとに「①主な検討ポイント、②具体的な説明（課題と対応）、③取組事例等」を記載することとしてはどうか。（「CGSガイドライン」と同様のイメージ）
- 幅広い周知と活用促進の観点から、実務指針本体とは別に「エグゼクティブ・サマリー」を作成してはどうか。

編集構成イメージ

1. ○○○…

1). △△△…

（主なポイント）

（課題と対応）

- ×××…
-

（取組事例・参考情報）

- 当該項目に関する主な検討ポイントを明記。
- 現状の課題や対応に関する具体的な解説を記載。（アンケート調査の結果も記載）
- 実務における具体的な取組事例や参考情報を記載。